

第1、事業の状況

1.平成30年度事業総括表

社会福祉法人 札幌慈啓会

事業区分	拠点区分	サービス区分・主な事業	主な収入	事業目的・事業内容
社会福祉法人	法人本部	法人本部 総合相談室 研究研修センター	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び資金管理・経営の総括、中・長期計画の算定。 相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。 研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。
	慈啓会養護老人ホーム	慈啓会養護老人ホーム 慈啓会養護特定施設入居者介護事業	措置費 介護保険収入 利用者負担金収入	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
	慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	ふれあいの郷養護老人ホーム ふれあいの郷養護特定施設入居者介護事業	措置費 介護保険収入 利用者負担金収入	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	委託料	原則として60歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することに不安のある方が入居する。 居室：個室（個室、洗面所、便所、収納スペース、調理設備等）、原則自炊
	慈啓会特別養護老人ホーム	慈啓会特別養護老人ホーム（従来型） 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型） 慈啓会短期入所施設（ユニット型） 慈啓会デイサービスセンター（一般型） 慈啓会訪問介護 慈啓会介護総合相談センター	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。 特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。 特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。 在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
		中央区介護予防センター旭ヶ丘	委託料	地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。
	札幌市稲寿園	稲寿園特別養護老人ホーム 稲寿園短期入所施設 稲寿園デイサービスセンター 稲寿園訪問介護 稲寿園介護総合相談センター	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。 特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。 特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。 ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。 在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
	札幌市菊寿園	札幌市菊寿園（軽費老人ホームA型）	委託料	60歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。（所得制限あり） A型：食事付 B型：自炊
	札幌市拓寿園	札幌市拓寿園（軽費老人ホームB型）		
	慈啓会老人保健施設	入所療養介護 短期入所療養介護 通所リハビリテーション	介護保険収入 利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。 老人保健施設にて、短期間入所しながら、看護・医学的管理の下で介護や機能訓練を行う。 老人保健施設にて、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを中心とした日帰りサービスを行う。
	慈啓会病院	慈啓会病院	診療報酬 利用者負担金収入	傷病者のための科学的でかつ適正な医療を行う。診療科目：内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科
	啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園	保育所運営費収入 利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後5ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての楽しさを伝える。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。
公益	第2地域包括	中央区第2地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。
	第3地域包括	中央区第3地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。

2. 法人本部

基本方針	1. 当法人の経営理念「共生」の理念のもと、社会福祉事業の推進に努めた。 2. 地域の一員として法人の特色を生かし地域貢献への取り組みを実施した。 3. 本部機能の周知徹底に努めた。 4. 総務部・事業部・福祉部3部体制の定着を図り、各施設・事業のバックアップを実施した。 5. 法人職員の意識・資質向上に資する諸施策を実施した。 6. 法人経営資源を有効活用するとともに経営基盤の強化を図った。
重点目標	<経営全般> 1. 理事会・評議員会の開催～理事会5回、評議員会2回開催した。 2. 経営理念・基本方針の職員及びご利用者様への周知徹底を実施した。 3. 法人の経営改善に向け、理事長と若手職員との座談会の開催、予算執行の周知徹底、経営会議の説明資料を改定した。 4. 法人内各施設の相互調整及び関係団体等との連絡調整を的確に実施した。 5. 地域貢献・生活困窮者支援等公益的な取り組みの強化を継続実施した。 6. 平成30年度介護報酬・診療報酬同時改正への対応策を随時検討を実施した。 <経理・財務> 1. 予算・決算及び決算見込に係る調整を継続実施した。 2. 助成金・借入金等の確保及び借入金の返済・償還に係る調整を実施した。 3. 新・人事給与システムの早期導入を実施した。 4. 経理・会計事務の質向上と効率アップのため勉強会を2回実施した。 <職員処遇> 1. 人材確保に関する取り組み (1)求人力向上のための取り組み(求人の早期実施、学校訪問、様々な就職説明会への積極的な参加、介護福祉士の正職員雇入れの開始、採用ツールや広告・求人サイト等メディアの活用)。 (2)外国人の受け入れに向けた情報収集を検討し、今年4月の外国人受け入れに繋げた。 (3)人材確保プロジェクトおよび同・作業部会を組織し、年間を通して課題等を協議した。 2. 法人職員の処遇 (1)正職員転換制度を規程化し公平な正職員転換を実施した。 (2)働き方改革関連法施行に伴う法人内の対応を協議、構築した。 (3)統括衛生委員会が主導し、健康診断やストレスチェック等の推進を行った。 (4)法人内外の永年勤続等の表彰事業および職員親厚会への助成を実施した。 <コンプライアンス> 1. 倫理綱領、法令遵守要領の周知徹底を図った。 2. 法人職員による相互内部監査を前期・後期に各1回実施した。 <リスク管理> 1. 防災対策会議を開催し、管理体制の再度見直しを実施した。 2. 情報機器の管理業務における管理体制の構築を実施した。 <広報・情報開示> 1. 広報・PR活動の強化による法人の発信力の強化として地域貢献活動の情報公開や求人活動のPR等を行ない法人のイメージの向上に努めた。 2. ホームページの運用・活用として介護職員初任者研修の専用ページを立ち上げた。 3. ホームページを活用し情報開示の推進を実施した。 <総合相談室・研究研修センター> 1. 総合相談室業務の体制強化を行った。 2. 研究・研修センター業務の充実を図った。 3. ともいき助成事業の実施を継続した。

3. 総合相談室

(1) 総合相談

① 総合相談件数

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話(直通)	83 82	85 84	134 132	120 119	131 130	100 97	7 6	2 2	3 2	8 8	16 16	23 21	712
来 訪	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	153	166	186	202	265	117	0	0	2	0	0	2	1,093
総 数	236	251	321	322	397	217	7	2	5	8	16	25	1,807

*その他は郵便、メール、留守電等

② 相談内容(複数入力可)

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
特養	1	1	2	1	5	2	1	0	0	1	3	2	19
慈啓会病院	1	5	0	2	1	0	1	0	0	0	0	2	12
老健	0	0	0	1	1	0	2	0	2	0	1	3	10
養護	1	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	8
軽費	0	0	1	3	2	0	0	1	0	0	0	0	7
予防センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
ショート	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	5
通所サービス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援ハウス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
法人外施設紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	232	244	316	317	390	215	2	0	1	7	13	16	1,753
合 計	236	251	322	326	401	217	7	3	5	8	17	27	1,820

(2) 見学案内

実施件数: 7件

見学者総数: 117名

韓国ソウル東大門社会福祉協議会・中国湖南省医療訪日団

北海道文教大学作業療法士学科学生・タイ王国研究所

北星学園大学学生・北海道医療大学学生

(3) 会議参加

	会議名	出席回数		会議名	出席回数
本 部	役員会	7	病 院	地域連携室会議	213
	月例会	11			
	経営会議	9		入所判定会議	0
	プロジェクト	9			
	後援会・研修会	1		入所判定会議	11
特 養	入所判定会議	9	稲 寿 園		

(4) 会議開催

苦情解決第三者委員会	2
理事長スポーツ大会会議	3
相談員連携会議	3
旭ヶ丘ミーティング	28
ともいきカフェ	4
コミカフェ	9
法人理念プロジェクト	3
幌西ほうおん健康講話会	1

(5) 連携・調整

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
慈啓会特養	32	27	26	39	31	30	30	30	28	26	28	27	354
慈啓会病院	30	32	28	28	39	34	34	25	22	27	27	31	357
慈啓会老健	14	11	12	13	5	8	8	12	6	12	8	14	123
慈啓会養護	9	7	9	8	4	3	3	10	2	8	8	7	78
稲寿園	6	7	4	9	7	6	6	11	2	8	7	11	84
ふれあいの郷	7	4	3	5	2	4	4	8	1	6	7	4	55
睦愛(拓寿園・菊寿園)	12	9	13	13	12	3	3	9	9	9	15	14	121
予防センター	4	0	1	4	0	2	2	5	0	1	2	0	21
居 宅	4	0	0	1	0	3	3	0	0	0	0	0	11
包括支援センター	8	1	10	13	10	5	5	5	6	9	7	0	79
在宅サービス	2	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	7
保育園	1	4	0	2	0	0	0	0	1	3	1	3	15
法人外施設	32	53	46	37	38	45	45	42	32	34	33	52	489
合 計	161	156	152	172	148	145	145	157	109	143	143	163	1,794

(6) その他

・理事長杯争奪スポーツ大会開催(6/17)・認知症カフェ開催(4回)・出張講座(2回)・広報誌発行(1回)

・苦情解決第三者委員会開催(2回6/25・12/28)・コミュニティカフェ開催(9回)・相談員面談・プロジェクト開催

4. 研究・研修センター

(1) 助成事業「さっぽろ慈啓会共生（ともいき）助成事業」

会議 運営委員会 2回（5月29日、2月5日）
審査委員会 2回（6月15日、2月22日）

①平成30年度助成事業

助成事業公募方法 法人内施設案内、札幌医大、北海道医療新聞、介護新聞、社会福祉士会等で告知

募集応募 6件

助成決定 5件 申請総額 2,500,000円

実績報告 5件 助成総額 2,500,000円

②2019年度助成事業

助成事業公募方法 法人内施設案内、法人ホームページ、札幌医大研究室案内、介護新聞掲載
北海道医療新聞掲載・北海道社会福祉士会案内・北海道介護福祉士会案内

課題募集期間 2019年3月1日～4月30日

(2) 研修企画

1) 法人研修(全体) 10回13会場

①「看取り・ターミナルケアについて」

講師 医療法人棕櫚の会 ホサナファミリークリニック 理事長・院長 一木 崇宏 氏

開催日・参加者：平成30年5月11日（手稲）24名

平成30年5月25日（旭ヶ丘）65名 合計89名

②「ストレスチェックについて」

講師 札幌慈啓会統括衛生委員会 産業医 宮地 佐栄 氏

開催日・参加者：平成30年6月27日（手稲）32名

平成30年6月28日（旭ヶ丘）60名 合計92名

③「人事考課制度について」

講師 札幌慈啓会法人本部 総務部長 蠣崎 重親 氏

開催日・参加者：平成30年7月12日（旭ヶ丘）合計24名

④「援助現場におけるリスク管理と求められる姿勢」

講師 ユナイテッド・コモンズ法律事務所 弁護士 中込 律子 氏

開催日・参加者：平成30年8月1日（旭ヶ丘）合計49名

⑤「若年認知症の人と家族の支援」

講師 NPO法人北海道ひまわりの会 事務局長 平野 憲子 氏

開催日・参加者：平成30年9月12日（旭ヶ丘）合計54名

⑥「インフルエンザとノロウイルス～みんなで考えよう～」

講師 慈啓会病院ICT委員会 委員長 宮地 佐栄 氏

開催日・参加者：平成30年10月18日（手稲）45名

平成30年10月22日（旭ヶ丘）80名 合計125名

⑦「認知症サポーター養成講座①」

講師 中央区第2地域包括支援センター 相談係長 鶴見 尚裕 氏

介護予防センター旭ヶ丘 相談主任 黄田 敦子 氏

開催日・参加者：平成30年11月20日（旭ヶ丘）合計27名

⑧「人事考課研修（考課者研修）」

講師 札幌慈啓会法人本部 事務局長 鈴木 俊彦 氏

開催日・参加者：平成30年12月13日（旭ヶ丘）合計24名

⑨「認知症サポーター養成講座②」

講師 中央区第2地域包括支援センター センター長 谷口 俊弘 氏

開催日・参加者：平成31年2月21日（旭ヶ丘）合計19名

⑩「虐待・身体拘束防止について～権利擁護の視点から～」

講師 医療法人湊仁会 定山湊病院 看護師長 大高 麻紀子 氏

開催日・参加者：平成31年3月13日（旭ヶ丘）合計47名

2) 種別研修 1回3会場

①「当法人の交通事故の傾向と対策について」

講師 東京海上日動火災保険株式会社札幌支店営業1課副主任 藤川 亜里 氏

開催日・参加者：平成30年5月10日（特養）25名・平成30年5月17日（老健）17名

平成30年5月24日（稲寿園）26名 合計68名

3) 役職者研修・その他研修 3回3会場

①「働きやすい職場づくり」

講師 札幌慈啓会 専務理事・総合施設長 加藤 敏彦 氏

開催日・参加者：平成30年9月18日（旭ヶ丘）合計24名

②「チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理」

講師 札幌慈啓会 専務理事・総合施設長 加藤 敏彦 氏

開催日・参加者：平成30年11月29日（旭ヶ丘）合計37名

③「消費税の改定について」

講師 久保英樹税理士・行政書士事務所 税理士 久保 英樹 氏

開催日・参加者：平成31年2月4日（旭ヶ丘）合計35名

4) 平成30年度 新採用者オリエンテーション（4月2～3日） 合計31名

(3) 国内派遣研修・海外研修 ①国内派遣研修 実績有り 2件（東京都・新潟県） 合計7名

東京編 3名 223,868円

新潟編 4名 373,829円

研修費合計 7名 597,697円

②海外研修 実績無し

(4) その他 ①介護支援専門員受験対策講座 1回（平成30年7月3日） 参加者3名

②国内派遣研修報告会 東京編 平成30年12月7日・平成31年1月22日 参加者28名

新潟編 平成31年2月18日 参加者23名

③介護職員初任者研修 1回（平成30年8月20日～10月22日） 受講者4名

5. 慈啓会養護老人ホーム(定員80名)

(1)利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢						年度内入退所		年度内入院者	
		(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	10	最低	70	最高	88	平均	79.7	2	1	0	2
女	70	最低	72	最高	100	平均	88.8	10	11	18	24
計	80					平均	87.7	12	12	18	26

・在籍率 100 % (毎月1日現在在籍数) ・利用率 99.27 % (在籍延べ日数)

(2)防災訓練実施状況

7/13 (火事)夜間想定検証訓練 9/3(火事)夜間想定施設合同訓練
3/11 (土砂)土砂災害想定訓練

(3)行事・クラブ実施状況

定例

歌クラブ、すこやか体操、誕生会、大相撲星取大会、園内喫茶、家族交流会
防災訓練、手芸クラブ、折り紙教室、を実施した。

季節行事

買物バスツアー、ビデオ鑑賞会、養護夏祭り、合同夏祭り、盆踊り大会、敬老の日式典、
理事長杯スポーツ大会、クリスマス会、年越し会、新年会、獅子舞、書初め、宝引き大会、豆まき、
きらく会ゲーム大会等を実施した。

(4)給食実施状況

給食時間 朝7:40～ 昼12:00～ 夜17:30～ / 毎月の行事食を提供

- ・栄養管理、衛生管理を徹底し、安心・安全な食事作りに努めた。
- ・イベント食として炭火焼を取り入れ、秋刀魚や焼き鳥、ジャガイモなどを楽しむメニューを実施した。
- ・個別の要望を聞き取りし、メニューに反映させた。

(5)保健衛生実施状況

定期的な内科医と精神科医の診察。外部からいとう整形外科、平川歯科の往診を依頼し、慢性疾患治療と重度化予防に努めた。

年に2回の健康診断に長谷川式簡易知能評価スケールを加え、より心身の状況把握に努めた。

インフルエンザ上気道炎等罹患者が出ないように脱水予防にうがい手洗い、マスク着用を指導し体調異常の早期発見と対応に努めた。

(6)職員研修実施状況

市老協生活相談員研究会、北海道高齢者虐待防止推進研修会(施設編)、札幌市養護・軽費老人ホーム部会施設見学研修会、浄土宗社会福祉協議会中央研修会、全国老人福祉施設大会北九州大会、札幌市・石狩管内老人福祉施設職員合同研修会、札幌市特定給食施設等研修会他

(7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

ガス立体炊飯器1台、カセットガス発電機3台、給湯ボイラー熱交換器交換、自動ドア部品交換及び修繕

(8)主要委員会

事故防止委員会(12回)、身体拘束廃止対策委員会(4回)、感染等対策委員会(12回)、
行事委員会(12回)、編集委員会(0回)

(9)事故発生状況

札幌市事故報告提出6件(転倒による骨折2件、誤薬1件、無断外出1件、裂傷等2件)
その他 転倒50件、座り込み4件、誤薬未遂1件、打撲1件、ずり落ち1件

(10)苦情の状況等

0件

(11)その他

ボランティア(折り紙教室)、訪問(旭ヶ丘高校、歯科学院、アンサンブルリラ)

6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢						年度内入退所		年度内入院者	
		(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	11	最低	71	最高	88	平均	81	2	2	1	6
女	89	最低	69	最高	103	平均	86	14	13	5	32
計	100					平均	86	16	15	6	38

・平均稼働率 100%(毎月1日現在在籍数) 96.65%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練実施 1. 7月4日 2. 10月 17日 3. 12月12日(検証訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・行事:園内喫茶(6回)、夏祭り、お施餓鬼法要、敬老会、忘年会、新年会、節分、誕生会(毎月)
理事長杯スポーツ大会、きらく会スポーツ親睦大会、アニマルセラピー(奇数月)、
特養定期演奏会、すきやきの日 拓寿園とのゲートボール交流試合
HBC少年少女合唱団コンサート、手稲高校吹奏楽部コンサート
- ・クラブ(毎週):ゲートボール(火曜)、書道(水曜)、カラオケ(第1.3金曜)、転倒予防体操(第2.4火曜)

(4) 給食の実施状況(給食時間 朝 7:30～ 昼12:00～ 夜17:30～)

- ・健康診断のデータを用い、個々の栄養マネジメント資料を作成し、栄養管理を実施した。
- ・嗜好調査、残菜調査の結果をもとに献立や食材の見直し、工夫を行い残菜の低減に取り組んだ。
- ・厨房内自主衛生管理表や調理員の健康管理表の確認。調理器具や食品関連の検査を常時実施。

(5) 保健衛生

- ・年2回の定期健康診断および平素から体調の変化等に留意することにより、疾病の発見や、病状進行の把握等を行うことで、専門医および他病院の受診に際し、適切に診療情報等を提供することができた。
- ・自身の体調の変化を感じた場合は、速やかに知らせていただくよう入居者へ啓蒙した。
- ・感染予防対策として、集団感染のリスクについて懇談会等で繰り返し入居者へ説明周知を行った。
- ・入居者のノロウイルス、インフルエンザの感染は発生しなかった。

(6) 職員研修実施状況

- ・法人研修(11回) ・職場内研修(12回) ・外部研修(9回 11名)

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕含む)

- ・屋外防災倉庫設置

(8) 主要委員会

- ・防災 3回(避難訓練の反省) ・給食 12回 ・事故防止対策 4回 ・研修 1回
- ・行事 4回 ・苦情 0回 ・感染症対策 4回 ・広報 1回
- ・動物介在、環境整備 2回 ・職員会議 12回 ・身体拘束 4回

(9) 事故発生状況

- ・転倒 6件(内 骨折2件) ・衝突 1件

(10) 苦情の状況等

- ・1件(騒音)

(11) その他

①メンタルケア

- ・北海道ボランティアドッグの会によるアニマルセラピーを実施。
- ・慈啓会特養で開催している定期演奏会への参加。

②地域との交流状況

- ・町内会との植栽活動 ・地域行事への協賛 ・地域交流センター利用の積極的受入れ
- ・近隣幼稚園との交流
- ・近隣中学校、高校からの職場体験の受け入れ

③ボランティア活動(計58件 延人数:98名)

- (行事手伝い等作業奉仕:27名、傾聴:22名、クラブ活動等指導奉仕:30名、音楽演奏等訪問:19名)

④その他

- ・入居者、職員で地域のゴミ拾い活動を月2回行い、地域貢献や入居者の活性化に繋がった。

【数値目標に対しての結果について】

- ・退所から入所までの平均空室期間目標を、10日未満としたが11日となり達成しなかった。
- ・特定サービス収入を年間平均額264万円以上としていたが、311万円となり達成した。
- ・食材の残菜率を5%未満に設定したが5.3%となり目標に達しなかった。(前年度比-0.5%)

7. ふれあいの郷 生活支援ハウス(定員20名)

(1) 利用状況等

	在籍者数	年齢						年度内入退所		年度内入院者	
	(年度末現在)	(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	2	最低	70	最高	83	平均	76.5	0	0	0	0
女	17	最低	66	最高	94	平均	78.05	1	2	0	6
計	19						平均	77.27	1	2	6

・平均稼働率 99, 95%(毎月1日現在在在所数) 99.45%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練3回実施(養護と合同)

第1回. 7月4日 第2回. 10月17日 第3回. 12月12日(夜間想定検証訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

定 例 ・懇談会・理事長杯スポーツ大会・開園記念昼食会・ゲートボール(週1回)
・書道(週1回)・転倒予防体操毎月2回・食糧品等買い物日(週1回)・コンサート

季節行事 ・端午の節句・夏祭り・敬老の日式典及び昼食会・忘年会
・新年昼食会・節分(豆まき)・ひな祭り昼食会

(4) 給食の実施状況

・入居者2名体調不良にて自炊不可の為 提供。
(①平成31年1月30日から2月14日まで ②平成31年2月6日から2月15日まで利用)

(5) 保健衛生

・年2回健康診断を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。
・季節型インフルエンザ予防接種を行うほか、冬期間の風邪対策を行なった。
・感染症予防のため消毒液の見直しや職員の対応について再検討をし懇談会にて
・手指消毒・うがい・マスクの着用等の励行をお話しし感染予防対策を行う。

(6) 職員研修実施状況

・法人研修 (11回) ・職場内研修 (12回) ・外部研修 (0回)

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

・なし

(8) 苦情の状況

・懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や
苦情委員会に寄せられる苦情等は0件です。

(9) その他

園芸活動・動物介在活動・地域交流ゲートボール大会・地域交流植栽

8. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型:定員70名）

</

9. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型：定員80名）

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	53	最高	98	平均	81.7	入所	退所	慈啓会	その他
男	11							8	4	8	2
女	68	最低	63	最高	101	平均	87.7	24	29	44	12
計	79					平均	86.8	32	33	52	14

介護度 (年度末現在)	
男	3.73
女	3.88
平均	3.93

・年間平均稼働率 95.4 % (1年間の現在数(入院者・外泊者を除く) ÷ 定員 × 365日)

(2) 防災訓練実施状況(夜間想定)

※特養従来型と同様の為省略

(3) 行事・クラブの実施状況

① 定例行事 ※特養従来型と同様の為省略

② 季節行事 ※特養従来型と同様の為省略

③ 地域交流・家族交流会等行事
※特養従来型と同様の為省略

④ その他行事 ※特養従来型と同様の為省略

(4) 給食の実施状況

※特養従来型と同様の為省略

(5) 保健衛生

※特養従来型と同様の為省略

(6) 職員研修実施状況

※特養従来型と同様の為省略

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

※特養従来型と同様の為省略

(8) 主要委員会の実施状況

※特養従来型と同様の為省略

(9) 事故発生状況(ユニット型・従来型合計)

※特養従来型と同様の為省略

(10) 苦情の状況等

0件

(11) その他

① ボランティア ※特養従来型と同様の為省略

② 世代間交流 ※特養従来型と同様の為省略

③ 地域交流 ※特養従来型と同様の為省略

④ 見学 ※特養従来型と同様の為省略

⑤ 実習・体験学習 ※特養従来型と同様の為省略

⑥ 木洩れびの家 ※特養従来型と同様の為省略

【木洩れびの家利用状況】

※特養従来型と同様の為省略

(12) 数値目標

(目標) 稼働率96.0%、平均介護度 4.0

(実績) 稼働率95.4%、平均介護度 3.97 = 稼働率 -0.6%未達成、介護度 -0.03 未達成

10. 慈啓会短期入所生活介護事業所(ユニット型:定員10名)

(1)利用状況等

	利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利用者介護度								
				支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中等	計
男	86	349	4.06	0	0	7	53	14	0	3	9	86
女	467	2,394	5.13	3	5	106	178	86	38	37	14	467
計	553	2,743	4.96	3	5	113	231	100	38	40	23	553

・平均稼働率 77.2%(1年間の利用者数÷定員(10名)×366日)

(2)食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎え	送り	合計	朝食	昼食	夕食	合計
376	355	731	2,302	2,770	2,339	7,411

(3)防災訓練実施状況

※特養と同内容のため省略

(4)行事・クラブの実施状況

※特養と同内容のため省略

(5)給食の実施状況

※特養と同内容のため省略

(6)保健衛生

※特養と同内容のため省略

(7)職員研修実施状況

※特養と同内容のため省略

(8)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

なし

(9)各委員会等の実施状況

※特養と同内容のため省略

(10)事故発生状況

転倒	転落	すり落ち	座り込み	変色	腫れ		
A	I	A	I	A	I	A	I
1	4	0	0	0	2	0	0
擦り傷	出血	痛み	誤薬	その他	合計		
A	I	A	I	A	I	A	I
0	2	0	0	2	1	0	0
						3	11

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

短期	2
----	---

(11)苦情の状況

なし

(12)数値目標

(目標) 稼働率80.0%、 → (実績) 稼働率 77.2% = -2.8% 未達成

※インフルエンザの影響により利用制限があったため

※長期利用者の減少(自施設入所、他施設入所等)

11. 慈啓会デイサービスセンター(一般型)

(1) 利用状況(平成31年3月末日現在)

	要 支 援		要 介 護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	9	9	37	20	15	2	1	93
延利用数	353	896	3,573	1,739	1,423	296	95	8,375

(2) 年度内新規・廃止利用者 (3) 年齢(平成31年3月末日現在)

	合計
新規利用者	34
廃止利用者	32

	在籍者	最低	最高	平均
男	18	69	94	83
女	75	77	99	89
合計	93			88

(4) 稼働率

	平均/定員	稼働率
一般型	27.9人/35名	79.6%

(5) 苦情数・事故数

苦情数 — 0 件

事故数 — 4 件

(6) 行事の実施状況

- ・誕生会(毎月1週間)・風呂の日(毎月第4週目の1週間)
- ・4月(お花見バスレク)・5月(花見バスレク)・6月(映画鑑賞会)・8月(夏祭り)
- ・9月(敬老会)・10月(紅葉見学)・11月(とんでん)・12月(クリスマス会)
- ・1月(新年会)・2月(雪祭り)

毎 月

- ・生き生き体操&ゲーム(毎日)・個別機能訓練(毎日)・定期演奏会(最終週)
- ・長栄会踊りと唄(毎月1回)・傾聴ボランティア・麻雀ボランティア

(7) 行事食の実施状況

- ・誕生会食・食事作りレク・夏祭り・敬老会・クリスマス会・新年会(鍋)

(8) 実習生受け入れ状況

- ・介護福祉士等実習生 5名/介護等体験職場実習 2名

(9) 数値目標

(目標) 稼働率85.8% → (実績) 稼働率79.6% = 稼働率 -6.2%未達成

12. 慈啓会訪問介護

(1) ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	8	8	8	8	8	7	6	5	5	5	5	5
合 計	11	11	11	11	11	10	9	8	8	8	8	8

(2) 利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	平均実人員
	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数
要支援 1	26	28	29	29	29	28	31	31	30	29	29	29	348
	77	81	93	80	87	85	79	93	86	80	74	78	993
要支援 2	20	20	20	20	20	21	20	20	22	22	23	25	253
	74	56	72	65	62	78	57	66	81	77	72	77	837
要介護 1	13	13	13	11	13	14	13	17	16	17	18	18	176
	68	70	56	48	60	62	57	78	74	69	69	72	783
要介護 2	15	17	18	14	14	13	13	12	13	14	11	13	167
	117	125	116	107	110	86	90	104	103	103	82	96	1,239
要介護 3	1	1	1	2	3	4	3	3	3	2	3	2	28
	4	3	4	11	10	19	19	22	16	11	31	30	180
要介護 4	2	2	2	2	3	4	4	3	3	3	3	0	31
	13	13	9	12	12	21	31	18	18	19	20	13	199
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
事業対象者	4	4	4	2	5	5	6	5	4	4	4	4	51
	7	5	9	7	8	9	4	9	6	6	10	10	90
合 計	81	85	87	80	87	89	90	91	91	91	91	92	1,055
	360	353	359	330	349	360	337	390	384	365	358	385	4,330

(3) 派遣内容別件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業相当型	250	251	246	256	243	250	283	258	249	242	248	267	3,043
身体介護	31	32	35	33	47	31	37	75	59	58	60	63	561
生活援助	91	97	78	70	51	58	57	55	55	54	47	46	759
身体生活	85	88	72	79	106	107	123	116	111	98	112	113	1,210
合 計	457	468	431	438	447	446	500	504	474	452	467	489	5,573

(4) 研修・会議等の実施

・月1回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
4月	法改正/個人情報保護法	
5月	高齢者の火災防止について	
6月	緊急時の対応	
7月	高齢者の栄養/感染・食中毒について	
8月	アセスメント記録を書く	
9月	若年性認知症について	
10月	ノロウイルスとインフルエンザ	
11月	認知症介護スキルアップ研修	
12月	自分の報告記録から「気づき」の記録発表	
1月	病気の理解	
2月	血圧と運動について	認知症介護基礎研修
3月	虐待・身体拘束について	ホームヘルプサービス事業経営セミナーH31年度報酬改定

・他事業所との連携 ベネッセ介護センター札幌

・札幌医療秘書福祉専門学校より実習生3名（3月12日、13日）

(5) 数値目標

（目標）利用者実績の1ヶ月の実利用平均人数 75人 → （実績） 87.1人 = 達成

13. 慈啓会介護総合相談センター

(1) 契約件数

月平均
225.4人

(2) 契約者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	2	5	5	2	1	6	7	5	1	3	2	3	42
解約者	0	0	0	1	0	4	1	0	0	2	0	2	10
内 訳	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	入 院	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	入 所	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	1	6
	転 居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変 更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	小規模多機能 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約者合計	207	212	217	218	219	221	229	234	235	236	238	239	2,705

(3) ケアプラン作成者 (利用票・提供票作成者)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要 介 護 1	60	64	62	62	62	61	62	62	63	59	57	59	733
要 介 護 2	36	36	40	37	40	42	42	42	40	39	37	38	469
要 介 護 3	9	12	12	14	16	15	18	18	19	16	16	16	181
要 介 護 4	7	7	8	8	8	8	7	9	9	10	6	8	95
要 介 護 5	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	18
合 計	115	121	124	123	128	127	130	132	132	125	117	122	1,496

(4) 要介護認定申請代行

新規申請	更新申請
5	81

(5) 相談経路

電話《夜間・祝日》	来 所	訪 問	合 計
962 (64)	47	1,947	2,956 (64)

(6) 活動状況

①情報伝達会議・研修	会議	48
	研修	18

②サービス担当者会議	244
------------	-----

(7) 数値目標

(目標) 1ヶ月平均マネジメント人数 130件 → (実績) 124.7件 = 稼働率未達成

14. 介護予防センター旭ヶ丘

(1) 総合相談支援業務

【総合相談】

① 相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
119	1	2	6	128

② 相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保険福祉サービス	権利擁護	消費者被害	認知症	高齢者虐待	心身の健康	住まい
25	93	1	0	0	3	0	0	8

家族の疾病	その他
1	9

③ 相談結果

実態把握	介護予防教室参加	地域介護予防活動参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関紹介	終了
3	64	0	0	15	4	42

【地域ケア体制の構築】

地区地域ケア会議(運営主体)	1回
区地域ケア推進会議(運営主体)	2回
地区連絡会議(運営主体)	7回
区連絡会議(運営主体)	18回
認知症サポーター育成	3回
地区組織との連携	16回
その他関係機関との連携(中央区介護予防C連絡会含む)	71回

(2) 介護予防普及啓発業務

① 事業別実施件数

介護予防教室	研修会	相談会	イベント	計	参加者延数
68	12	0	2	82	2,169

(3) 地域介護予防活動支援業務

① 介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	自主グループ	その他	計	参加者延数
0	0	0	1	13	6	7	27	385

② 支援した地域活動組織等 のうち自主活動化した数

自主化の数
1

③ ボランティア等人材 育成研修(一般住民等)

実施回数	参加者数
3	9

④ その他

シンポジウム・各種研修等	5回
自主研修(介護予防センター従事者情報交換会等)	4回

(4) 数値目標

(目標)委託契約書に記載の事業実施回数目安の達成

① 介護予防教室	(目標)30回	→	(実績)68回	=	達成
② 地域介護予防活動支援	(目標)18回	→	(実績)27回	=	達成
③ 地区地域ケア会議	(目標)1回	→	(実績)1回	=	達成

15. 札幌市稲寿園 特別養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低		最高		平均		入所	退所	療養会	その他	男	女
男	17	66		92		83.4		7	3	4	2	3.94	
女	79	60		100		87.5		22	28	46	21	4.04	
計	96					86.7		29	31	50	23	4.02	

・月平均稼働率 93.4% (H29年度 96.8%)

【説明】平均稼働率が昨年度と比べて3.4ポイント低下した。原因として入院者数が73名と昨年度と比べて29名増加したこと、退所者数が31名と昨年度と比べて5名増加したことが影響したと考えている。期間で見ると上半期は、昨年度の19名より13名少ない6名で退所者は推移していたが、下半期で見ると、昨年度の退所が11名だったのに対し、本年度は25名と倍以上になったことも影響している。さらに待機者数が少なくなっていることや入所調整中の方が急に病状悪化して延期するなどスムーズな入所調整ができなかったことも影響している。

(2) 防災訓練実施状況

1. 3月7日(自衛消防訓練)、3月14日(防災訓練・夜間想定)

(3) 行事・クラブの実施状況

全体行事

稲寿園・ふれあいの郷合同夏まつり、敬老の日式典、クリスマス会、節分豆まき、雪明り喫茶、園内売店、歌のコンサート
寿カフェ、寿クラブ、アニマルセラピー、カラオケコンサート等

地域交流・家族交流会等行事

手稲神社秋季例大祭、さわらび幼稚園園児訪問、稲陵中学校職場体験、あけぼの夏まつり出店
稲陵中学特別支援学級敬老交流会、オープンカフェ(5～10月)

ユニット行事

・趣味活動(塗り絵・折り紙・ちぎり絵・パズル・紙芝居・季節の飾りつけ)
・誕生会、出前寿司、入居者参加料理作り等(カキ氷等)

(4) 給食の実施状況

・給食委託業者との連携を密にするように努め、ご利用者満足度を低下させることなく、食事提供を行えたと思う。
・災害等の非常時及び、感染症等への適切な対応を行うとともに、日常的に厨房内の衛生、安全面への管理に努め、事故等の発生無く食事提供を継続できた。

(5) 保健衛生

・1月に1階フロアにてインフルエンザが流行したため一時的に入所受け入れを制限したがその他は大きな感染症もなかった。
・職員研修等において、感染症予防啓発および実践的な知識・技術向上に努めた。
・利用者家族のニーズに沿って協力医療機関との協議を行い、他職種協働により体制を整え看取り介護を再開した。

(6) 職員研修実施状況

平成30年 7月2日 社会福祉法人経営者セミナー 7月25～26日 全道老人福祉施設研究大会
10月29～31日 全国老人福祉施設研究大会、… 等 (全47件)

(7) 委員会等の開催

・役職者会議・全体説明会等の開催により、施設運営の目指すべき方向性や情報の共有化を図った。
・例月の各種委員会や、定期的ケアマネジメントに関する協議等を通じ、多職種間での課題の解決、協働による質の高いサービス提供に努めた

定期開催委員会(毎月・隔月)

身体拘束廃止対策委員会、事故防止対策(感染症対策・虐待防止含む)委員会、褥瘡対策委員会、処遇委員会、機能訓練委員会、行事委員会、給食委員会、衛生委員会、ケアマネジメント推進協議会

随時開催委員会

医療的ケア対策推進委員会、防災委員会、認知症ケア向上委員会、広報委員会、研修委員会、苦情解決委員会

(8) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

・固定資産取得…大型脱臭機1台、冷蔵庫1台、電動ベッド5台、WINCAREライセンス1セット(医務室)等
・修繕…冷暖房ボイラー部品交換、浴室漏電ブレーカー修理、消防用設備修理、浴室内扉修理、無線LAN工事等

(9) 事故発生状況

転倒・転落:30件、アザ・出血:37件、誤薬:2件、異食:5件、誤嚥・誤飲:0件、その他:9件 計 83件
札幌市報告事例:12件→転倒・転落4件、誤薬3件、打撲・皮膚変色2件、誤食2件、胃腸チューブ抜去1件)

(10) 苦情の状況等

4件(手指消毒器について1件、スリッパの汚れ2件、職員の挨拶について1件)

(11) その他

- ①ボランティア 行事、行事手伝い、お話し相手、業務手伝い等: 5団体と1個人(延べ276人)
- ②交流 さわらび幼稚園延べ 353名
- ③実習・体験学習 社会福祉士実習 4校5名、高等支援学校現場実習 1校1名、介護職員初任者研修0校0名、

17. 稲寿園デイサービスセンター

(1) 利用状況等

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
開設日数			25日	27日	26日	26日	27日	25日	27日	26日	25日	24日	24日	27日	309日	309日
予防通所登録者数			31	27	24	25	25	24	27	29	30	31	31	32	1,880	1,744
予防延利用者数			165	156	136	135	163	121	171	169	172	162	157	173		
予防平均利用者数			6.6	5.8	5.2	5.2	6.0	4.8	6.3	6.5	6.9	6.8	6.5	6.4	6.1	5.6
通所介護登録者数			80	76	81	84	82	80	78	75	72	72	75	78	6,308	6,226
通所延利用者数			539	582	570	562	567	442	556	547	496	484	458	505		
通所平均利用者数			21.6	21.6	21.9	21.6	21.0	17.7	20.6	21.0	19.8	20.2	19.1	18.7	20.4	20.1
利用者数内訳	要支援	1	40	34	25	30	35	27	35	40	38	39	37	36	416	538
		2	125	122	111	105	128	94	136	129	134	123	120	137	1,464	1,206
	要介護	1	237	260	259	263	278	227	277	261	238	245	229	244	3,018	2,532
		2	236	263	263	252	245	184	234	233	196	165	163	181	2,615	2,683
		3	63	55	43	36	35	22	31	34	37	48	41	50	495	755
		4	3	4	5	11	9	9	11	13	16	11	11	13	116	231
		5	0	0	0	0	0	0	3	6	9	15	14	17	64	25

【説明】

- ① 予防と一般を含めた年間を通しての1日の平均利用者数は26.5人であった。(前年度より0.8人増)
- ② 平成30年度の年間延利用者数は、前年度より218名(一般は82名、予防は136名)増加した。
- ③ 平成30年度は新規登録者が27名、廃止は30名であった。
- ④ 地震の影響で4日間営業出来なかったが目標(82%)の年間稼働率(82.8%)はクリアできた。

(2) 防災訓練実施状況

- ① 3月14日

(3) 行事実施状況

- ・ 歌のコンサート、誕生会などは、通例の行事として毎月実施した。
- ・ 3月、4月と月を跨ぎ、ロイズ西宮の沢店での買い物行事を実施した。
- ・ 昨年度同様、5月は園庭にてお花見を1週間行った。
- ・ 6月には、昨年度の10月に実施したスーパーアークスでの買い物行事を行い、利用者の参加も多数あった。
- ・ 毎年恒例の縁日は、7月と8月に開催時期を分け、7月は「縁日」、8月は「夏祭り」とし、昔懐かしのゲームなどを行った。
- ・ 縁日同様、「アイス外食」も8月と9月に開催時期を分け実施し、「食」と「涼」を楽しんでいただいた。
- ・ 9月の敬老週間では、利用者参加型のクイズ大会と賀寿者への表彰を行い、記念品も利用者から好評だった。
- ・ 10月には秋の味覚さんまを炭焼きし、昼食時に提供。利用者からも好評だった。
- ・ 11月には、数年ぶりにとんでんでの外食行事を行い、思い思いの食事を楽しまれた。
- ・ 12月は例年通り、クリスマス会を実施。

(4) 給食の実施状況

委託会社、管理栄養士の協力を頂きながら、四季折々の季節感ある食材を使用し、彩りや盛りつけを工夫した食事の提供を心掛けた。その他、野外食や日替わり鍋など季節感のある食事提供の企画に協力していただけた。

(5) 研修実施状況

今年度は実績なし。

(6) その他

- ・ 手稲区における通所サービス全体の活性化と交流を目的とした組織運営(手稲区通所サービス連絡会)を行った。

ボランティア実績	今年度	前年度
延べ日数	156	280
延べ人数	249	314

- 他 ・ピアノ演奏ボランティア(火曜日の午前)、コンサートボランティア(毎月)
・日本舞踊ボランティア(偶数月)

(7) 固定資産取得状況等

- ・購入なし

18. 稲寿園訪問介護

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

【説明】職員減少の中派遣回数は微増、派遣時間についても1件1件精査し対応している

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	287	303	278	301	306	260	307	285	276	274	275	301	3,453
平成29年度	233	255	299	274	294	286	315	312	291	261	260	285	3,365

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	258.0	273.0	253.5	268.5	276.5	236.0	273.0	254.0	248.5	250.5	261.0	275.0	3,127.5
平成29年度	233.0	249.5	280.0	257.5	270.5	257.5	294.5	288.0	269.0	246.5	238.5	265.5	3,150.0

(2) 介護度別利用者状況

【説明】要介護者・要支援者の利用割合に大きな変化はない

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
要支援	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	6
	2	4	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	44
要介護	1	19	17	16	18	18	15	16	16	17	16	16	16	200
	2	7	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	10	99
	3	3	3	4	4	4	5	4	4	4	5	4	5	49
	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
合 計		38	37	35	37	37	35	36	37	39	39	38	40	448

(3) 職員研修・カンファレンス状況

- ① 定期研修 : 毎月1回実施
- ② カンファレンス : 毎月2回実施

19. 稲寿園介護総合相談センター

(1) 相談対応方法

【説明】相談件数は担当者数の増加と共に増加傾向にあり、30年度は来所での相談も増えている。

(単位:人)

平成 30 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
訪問	173	173	177	172	177	154	165	166	153	152	162	162	1,986
来所	9	6	2	5	6	6	0	7	6	7	5	3	62
電話	52	96	72	49	50	69	77	75	61	76	83	79	839
合 計	234	275	251	226	233	229	242	248	220	235	250	244	2,887

(2) 契約者推移

【説明】包括支援センターからの再委託件数の調整を図りながら対応した事もあり、新規契約者は少なかった。

(単位:人)

平成 30 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
新規契約者	2	4	5	1	1	1	1	2	3	0	5	2	27
解約者	2	0	0	5	0	0	1	2	2	0	2	1	15
内 訳	死 亡	1	0	0	2	0	0	1	2	0	0	2	8
	長期入院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	入 所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	転 居	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	事業所変更	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約者合計	182	186	191	187	188	189	189	189	190	190	193	194	

(3) 相談経緯・件数

【説明】包括支援センターからの再委託件数の調整を図りながら対応したため、包括支援センターからの紹介は少なかった。

(単位:人)

H30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
手稲区第1包括							1	1				1	3
手稲区第2包括	1	1	1				1		1		3		8
中央区第2包括							1	2					3
本人・家族	1	2	2	1	1						3	1	11
病院	1		1					1		1		1	5
他事業所		1			2			1				8	12
合計	3	4	4	1	3	0	3	5	1	1	6	11	42

(4) 月別利用者数

【説明】包括支援センターからの再委託件数の調整を図りながら対応したため、新規契約者及び相談件数は昨年度よりは少なかったが、担当していた要支援利用者の要介護への重度化もあり、要介護者の担当件数は増加した。

(単位:人)

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1	H30年度	15	15	13	12	12	12	12	12	12	14	14	14	157
	H29年度	15	15	13	11	13	14	15	16	15	16	15	16	174
要支援2	H30年度	14	14	13	13	12	13	14	14	14	13	13	14	161
	H29年度	17	16	19	22	20	21	21	23	20	18	16	16	229
要介護1	H30年度	65	65	65	68	68	69	67	66	68	68	68	65	802
	H29年度	41	44	47	48	49	53	55	55	59	55	51	58	615
要介護2	H30年度	41	39	40	41	41	35	35	34	31	28	27	29	421
	H29年度	37	40	39	40	37	38	37	37	38	34	38	36	451
要介護3	H30年度	15	16	15	14	12	15	17	14	17	21	20	21	197
	H29年度	10	11	14	15	16	17	18	18	19	20	17	15	190
要介護4	H30年度	3	3	5	5	5	5	4	4	2	2	2	2	42
	H29年度	4	4	4	3	4	4	2	2	2	2	2	3	36
要介護5	H30年度	2	1	1	1	1	0	2	1	1	1	1	0	12
	H29年度	2	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2	20
合 計	H30年度	155	153	152	154	151	149	151	145	145	147	145	145	1,792
	H29年度	126	131	137	140	141	148	150	153	155	147	141	146	1,715

(5) 研修会等出席状況

内部研修のほか、「手稲区ケアマネジメント能力向上研修会」等の外部研修に出席した。

他 居宅介護支援事業所との事例検討会の開催

(6) その他

平成30年度特定事業所集中減算は前期、後期ともに指摘事項、減算なし

介護支援専門員実習生の受け入れ

20. 軽費老人ホームA型札幌市菊寿園（定員50名）

(1) 利用状況等

	在 籍 者 数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他
男	12	最低	66	最高	91	平均	80.6	2	2	0	3
女	28	最低	71	最高	100	平均	83.8	5	4	0	12
計	40					平均	82.8	7	6	0	15

・平均在籍者数 40.8名 81.6% 平均介護度 0.96（参考：平成29年度 0.88）

(2) 防災訓練実施状況

① 5月16日（夜間想定） ② 8月1日（公団・乳児園合同） ③ 11月5日（公団・乳児園合同） ④ 風水害対策ビデオ研修

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定 例：誕生会、カラオケ月2回（1回は講師来園）、クラブ活動（花札、カルタ、トランプ）、買物の日、映画会、ラジオ体操、介護予防体操、介護予防教室、全体懇談会、ゲーム大会（輪投げ・ストラックアウト）、生き生きクラブ（脳トレ・筋トレ）、ちぎり絵教室、園内ショッピング（食品、衣類、薬局）
- ② 季節行事：バスレク、夏まつり、御施餓鬼法要、忘年会、新年会、百人一首大会、すき焼きの日、秋のバイキング、きらく会行事、敬老の日式典・祝宴（お好み寿司）、ショッピングデー（園車使用）、クリスマスランチ、手巻き寿司の日、かき氷の日、初詣、鍋の日、ジンギスカンの日、節分豆まき、雑祭りバイキング
- ③ そ の 他：各種ボランティア・訪問・招待・交流会（乳児園、保育園等）・中学生職場体験の受け入れ

(4) 給食の実施状況

給食時間 朝 7:30～ 昼 12:00～ 夜 17:30～

- ① ご馳走の日・バイキング・セレクト食の実施
- ② ADL低下者に配慮した対応（時間前の誘導、配下膳の一部介助等）

(5) 保健衛生

- ① 嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療。
- ② 施設内感染防止対策として、手洗い（消毒殺菌水使用）、うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ、手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者に講話実施。
- ③ インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。
- ④ 月1回血圧測定、2ヶ月1回体重測定、年2回健康診断を行い健康保持。
- ⑤ 薬の自己管理が難しい場合、カレンダー薬や配薬で対応。
- ⑥ 認知症、ADL低下者への対応（洗濯・掃除・入浴の一部介助）。
- ⑦ 介護予防に関する保健指導、介護予防教室への参加推進、健康講話の開催。

(6) 職員研修実施状況

養護・軽費老人ホーム職員交流研修会、ニューパワー全体セミナー、北海道ブロック研修会（全軽協）
全体研修会（市介護保険サービス事業所連協会・市社協）、結核・感染症対策研修会、特定給食施設等研修会

(7) 固定資産取得状況等

な し

(8) 修繕・大規模改修等

厨房調理台補修、食器洗浄機補修、ボイラー管理系統デジタル指示調節計、居室内装補修 他

(9) その他

アンケートによる満足度調査の実施、介護予防体操の継続実施（週に1回）
地区の介護予防センターとの連携、札幌市菊寿園運営協議会実施

21. 拓寿園軽費老人ホーム(定員50名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年 度 末 現 在)						年 度 内 入 退 所		年 度 内 入 院 者	
		最 低		最 高		平 均		入 所	退 所	慈 啓 会	そ の 他
男	11	69		87		76.1		3	0	0	1
女	32	65		90		78.3		4	6	0	4
計	43					77.7		7	6	0	5

・平均稼働率 84.5%(毎月1日現在在籍数)

(2) 防火訓練実施状況

1. 9月28日(夜間想定)
2. 3月11日(防災訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・定例行事・クラブ活動
誕生会(月1回)、全体懇談会(毎月)、血圧測定(月1回)、カラオケクラブ(月2回)、園長杯ゲートボール大会(5回)・ゲートボールクラブ(随時)
- ・季節行事
野外昼食会(お花見)、いちご狩りツアー、夏祭り、1泊旅行、敬老会、クリスマス・忘年会
新年交礼式、新年会、節分(豆まき)
- ・その他
福祉制度講話会(月1回)、介護予防教室(月2回)、ふまねっと運動(月2回)、きらく会ゲーム大会、屯田地区ふれあい福祉週間輪投げ大会・屯田地区一人暮らしお年寄りとの昼食懇談会、日赤奉仕団園内清掃、有朋高校生との交流会・夏祭りボランティア受入れ、屯田北児童会館の児童との交流会、買い物ツアー、健康歩こう会、リンパマッサージ教室、映画鑑賞会、理事長杯スポーツ大会

(4) 給食の実施状況

- ・なし

(5) 保健衛生

- ・協力医(ふるや内科)及び各医療機関と連絡体制を密にし、疾病の早期発見、早期治療に努めた。
- ・要介護要支援認定者等に対して、担当ケアマネジャー及び各福祉医療機関との連携に努めた。
- ・10月・3月の年2回、健康診断を実施した。
- ・インフルエンザ予防接種は、10月から11月にかけて、協力医又はかかりつけ医にて実施するように日頃より呼びかけし、希望者に実施。
- ・食中毒やノロウイルス等の感染症予防は、全体懇談会での啓発等にて指導・注意を呼びかけた。

(6) 職員研修実施状況

- ・全国老人福祉施設大会(北九州大会)、高齢者虐待防止推進研修会、社会福祉施設経理取扱研修会、法人職員研修会に参加

(7) 固定資産取得・処分状況

- ・ノートパソコン3台廃棄: 1月
- ・施設送迎用車両取得 : 3月

(8) 大規模修繕・改修

- ・入居に伴うリフォーム工事(4室)
- ・屋外洗い場改修工事
- ・自転車置き場舗装工事
- ・フェンス改修工事
- ・自家発電蓄電池交換

(9) その他

- ・アンケートによる満足度調査の実施: 1月
- ・床WAX清掃の実施(年2回)
- ・排水管清掃の実施(年2回)
- ・入居募集広告掲載(年3回)
- ・札幌市拓寿園運営協議会開催: 3月

22. 慈啓会老人保健施設(入所定員 90名、通所定員 40名)

(1) 利用状況等

【施設サービス】

在籍者数 (年度末現在)		年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院先		介護度	
								入所	退所	慈啓会	その他	(年度末現在)	
男	14	最低	55	最高	94	平均	81.8	23	19	6	5	男	2.5
女	71	最低	72	最高	107	平均	90.4	78	78	27	27	女	3.11
計	85					平均	89.1	101	97	33	32	平均	3.01

【短期入所療養介護】

在籍者数 (年度末現在)		年 齢 (年 度 内)				年度内利用者	
						人数	日数
男	1	最低	55	最高	89	41	327
女	0	最低	75	最高	97	53	350
計	1					94	677

【通所リハビリテーション】

利用者数 (年度末現在)	利用実数 (3月分)		年 齢 (月末現在)					
	男	女	最低	最高	平均	80.6		
男	11	30	68	96	80.6			
女	14	37	69	97	84.1			
計	25	67					平均	82.5

(2) 防災訓練実施状況

1. ①H 30年9月3日②H31年3月27日(夜間想定)

(3) 年間行事・交流会・趣味活動の実施状況

【行事・交流会】誕生会、外出訓練、夏祭り、敬老会、鍋会、おやつ作り、新年会、映画鑑賞会、アニマルセラピー、保育園・幼稚園児・「職業体験学習」で中学生の受け入れ
【趣味活動】生け花、麻雀、カラオケ、手芸、折り紙・うた・手遊び他

(4) 委員会及び会議

- ①行事 ②生活向上 ③食事 ④感染・研修 ⑤安全推進・身体拘束ゼロ・褥瘡予防 ⑥ケアプラン検討
⑦広報 ⑧苦情処理 ⑨在宅復帰パス検討 ⑩衛生 ⑪施設運営会議 ⑫リーダー会議 ⑬管理者会議

(5) 給食の実施状況

給食時間 朝 8:00 昼 12:00 夕 18:00
・保温食器の導入等による適温適時給食の実施 ・特別食(治療食)への対応
・嗜好調査の実施(4～12月) ・主食、デザートバイキングの実施
・行事食では季節感、食材のバリエーション等、食事による利用者の精神的活性化
・個々の身体状況を考慮した食形態や栄養補助食品の工夫等

(6) 保健衛生

・毎食後の口腔ケアを継続。 ・感染症の疑いのある時は速やかに隔離対応し、拡大を防いだ。
・インフルエンザ予防接種の実施と入所時の肺炎球菌ワクチン接種。
・気温・湿度の管理をしっかりと行い、感冒流行の兆しが認められた時は早期対応を行い、罹患者を最小限にとどめるよう努めた。

(7) 職員研修実施状況

【施設外研修】

・北海道老人保健施設大会 ・認知症実践者研修 (2名) ・認知症介護リーダー研修(1名)
・リスクマネジメント研修 ・介護系リーダー研修(初級・上級) ・アングーマネジメント等
・社会福祉法人経営実務セミナー

【施設内研修】

・介護報酬改定 ・在宅復帰パス ・虐待関連 ・食中毒研修 ・衛生的手洗い ・インフルエンザ ノロウイルス
・褥瘡

(8) 事故発生状況及びヒヤリハット

事故報告 : 平成30年度累計102件 (転倒26件、外傷23件、ずり落ち1件、他53件。内、骨折事故8件)
ヒヤリハット : 149 件

(9) 苦情の状況等

計6件

23. 慈啓会病院

I. 基本方針

法人理念及び当院の理念に沿った、地域の方々に信頼される病院をめざし、医療サービスの更なる向上と経営安定を図ることを目的に運営を推進した。

II. 重点目標

診療報酬改定や地域包括ケアシステムなど外部環境変化が激しく、当院にとってもその変化への対応を求められていることから、急性期以後において、エリアNo.1の医療サービスを提供すること、顧客満足度を高めること、PDCAの活用を推進すること等の共通目標を掲げ、目標達成をめざして事業を展開し、取り組みを進めてきた。

1. 病院経営について

- (1) 入院収入は診療報酬改定等による競合増加・入院経路変化・在院期間短縮等で予算を下回っている。病院再編後においても従来と相違する事象が毎年発生しているので、複雑化する施設基準への対応を含めて毎月再編委員会を開催し、その対応にあたっており、PDCAと地域の医療機関等への営業を含めたパイプ作り・実績作りを継続して稼動向上を図っている。外来収入については昨年度比で減少しており、内科外来の減少が主要因である。
- (2) 支出は人材確保が困難なことから人件費は予算を下回っており、収入への影響がみられる。短期的には紹介費など大きく人材コストをかけざるを得ない状況で、出口戦略の実行と中長期的には看護実習生の受け入れも行う。事業費は収入減少に伴う変動費や薬価改定、後発薬品使用、患者層変化の影響で予算を下回っており、利用者負担軽減額も患者層変化の影響で予算を下回っている。
- (3) 収支については予算を上回っており、患者単価増加を含め、患者層変化等によるコスト内容も変化し、従来に比べて損益分岐点が下がった状況も増益要因と考えられる。
- (4) 一般外来患者の増加を含めた収入確保対策として、インフルエンザクーポンによる地域のマーケティング活動を継続し、サブアキュート・ポストアキュートへのアプローチとして、クリニック及び他病院への営業活動や見学等を実施している。
- (5) 支出削減対策については、過年度同様に削減意識を高めて取り組んでいる。

2. 収支状況について

(1) 外来収入について

種別	H29		H30		差 (H30－H29)	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
内科外来	5,955	43,157	5,896	42,118	▲ 59	▲ 1,040
精神科外来	587	3,616	627	3,577	40	▲ 40
健診・ドック	3,287	20,249	3,073	20,307	▲ 214	58
予防接種	1,825	6,615	1,936	6,344	111	▲ 271
施設外来	18,070	45,210	18,947	46,885	877	1,675
その他	2,148	6,538	1,216	5,898	▲ 932	▲ 640
合計	31,872	125,385	31,695	125,129	▲ 177	▲ 256

(2) 病棟別診療費収入について

病棟	再編前平均(H25～H27)		再編後・H29		再編後・H30		差 (H30－再編前平均)		差 (H30－H29)	
	稼動(床)	金額 (千円)	稼動(床)	金額 (千円)	稼動(床)	金額 (千円)	稼動(床)	金額 (千円)	稼動(床)	金額 (千円)
2F	43.2	354,260	40.7	342,914	40.5	338,379	▲ 2.7	▲ 15,881	▲ 0.2	▲ 4,535
3F	38.8	309,043	32.2	357,112	32.1	374,090	▲ 6.7	65,047	▲ 0.1	16,978
4西	42.1	270,066	41.9	308,695	38.1	280,991	▲ 4.0	10,925	▲ 3.8	▲ 27,705
4東	40.5	284,194	38.6	290,597	37.7	279,824	▲ 2.8	▲ 4,370	▲ 0.9	▲ 10,773
5F	51.4	272,016	48.3	264,078	49.5	284,099	▲ 1.9	12,083	1.2	20,021
合計	216.0	1,489,579	201.7	1,563,396	197.9	1,557,383	▲ 18.1	67,804	▲ 3.8	▲ 6,014

(3) 営業収支について

(単位：千円)

再編前平均(H25～H27)	再編後・H29	再編後・H30	差 (H30－再編前平均)	差 (H30－H29)
37,920	76,039	122,361	84,441	46,322

3. 患者サービスについて

- (1) 薬剤、放射線、検査サービス対策は、電子カルテのアップデートなどにより情報伝達が迅速かつ確実に行うことが可能となり、薬剤の処方や検査等も同様に従来よりも正確でスピーディーな処理が実現できている。
- (2) 食事療養サービス対策は、行事食を積極的に実施するとともに各病棟で季節にあった食事提供や患者状態に適合する栄養剤を協議・選択して対応した。
- (3) アメニティ対策として、売店、理容室、食堂等での内容充実と安全確保を図った。
- (4) 患者、家族との信頼関係対策は、職員間のコミュニケーションを活発に行い、情報の共有化を推し進めるとともに、患者様やご家族様とのコミュニケーションも職員側から積極的に行うよう努めた。

24. 啓明ともいき保育園

(1) 在籍状況(90名定員)

	在籍数	入所率(%)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上
4月	89名	98.8	6名	30名	19名	34名
5月	89名	98.8	6名	30名	19名	34名
6月	89名	98.8	6名	30名	19名	34名
7月	91名	101.1	7名	30名	19名	35名
8月	93名	103.3	9名	30名	19名	35名
9月	92名	102.2	9名	29名	19名	35名
10月	93名	103.3	10名	29名	19名	35名
11月	93名	103.3	10名	29名	19名	35名
12月	93名	103.3	10名	29名	19名	35名
1月	93名	103.3	10名	29名	19名	35名
2月	94名	104.4	10名	30名	19名	35名
3月	95名	105.6	10名	31名	19名	35名

(2) 防災訓練実施状況

- ・園児及び職員による避難訓練(通報訓練、消火訓練、地震想定含む)・不審者訓練を毎月実施する。
- ・総合避難訓練は消防の都合で立ち合いはないが、保育園で防火管理者作成で8月に実施。

(3) 行事の実施状況

- ・4月2日(月)、14名の新入園児を迎え、入園お祝い会を開催した。
- ・【定例行事】
誕生会(毎月)、季節ごとのお楽しみ会、園医健診(毎月)、歯科健診(年1回)
- ・【季節行事】
遠足、お祭りごっこ(おみこし・縁日)、七夕、バス遠足、運動会、生活発表会、クリスマスお楽しみ会、新年お楽しみ会、節分(豆まき)、おみせやさんごっこ、ひな祭り、お別れ会食会、卒園式
- ・【その他】
保護者懇談会、保育参観、個人懇談会、観劇(人形劇)、交通安全教室(2回)、絵本わくわくキャラバン
連携保育園(伏見すめ保育園)との交流、お楽しみ会で保育士の手遊び等園児と楽しむ。
年長児の主な活動(防災センター、シルエット劇場観劇、青少年科学館見学など)
特別養護老人ホーム(デイサービス利用者)との交流会～子ども達手作りのおみこしを披露する。
外出レク交流(利用者の方が園にきて園児と交流)
特別養護老人ホームとの交流会(1回)～オペレッタ、歌、楽器演奏、踊りなどを披露する。

(4) 給食の実施状況

- ・札幌市の基本献立を基に実施し、園児に提供。栄養士と園児と一緒に食事をする機会を多くもつ。
- ・給食便りを発行。子ども達に人気のあるものや季節の食材によるメニューの紹介。
- ・子ども達が意欲的に食に関われるように、年齢ごとに計画した食育の実施と、バイキング・クッキングを行う。

(5) 事故発生状況

肘内障(1件)、頭部打撲(2件)、歯の打撲(6件)、鼻の打撲(1件)、足の打撲(1件)、顔の擦過傷(1件)、白目の擦過傷(1件)

(6) 保健衛生

- ・アタマジラミの発生に伴い、頭髮検査、衣類・寝具の管理、午睡後の掃除などを徹底的に行う。
その都度、保護者に周知し、まん延を防ぐ。
- ・感染症の予防に努め、手洗い・うがいを励行し、共用部分の清拭・消毒を行い場合、児童を隔離して消毒をこまめに行い、拡大感染防止に努める。年末年始にかけ、インフルエンザAに30名程罹患する。

(7) 職員研修実施状況

- ・保育園における乳幼児保育内容の研修、給食・食育関係者研修、改訂保育指針研修など。
- ・札幌市私立保育園連盟主催、法人本部の研修会に参加する。幼保小連携推進協議会の研修・申し送り。
- ・内部研修(新保育指針周知、保育要録作成にあたり記録の仕方について)

25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所

○中央区第2地域包括支援センター

(1) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	88	63	70	54	73	50	61	46	51	44	65	55	720

(2) 会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	12	
個別地域ケア会議の準備会	12	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	21	
区地域ケア推進会議	2	
区連絡会議	24	
市地域ケア推進会議		2
①②以外のケース検討会議	5	0
運営推進会議等		26
介護支援専門員連絡協議会		9
地区組織との連携	9	17
医療機関との連携	13	1
その他関係機関との連携	61	31
生活支援コーディネーター等との連携		4
合 計	162	90

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1) 登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	760	769	779	795	802	800	804	807	816	829	823	830	
解約者数	20	16	14	12	15	17	26	14	13	12	21	22	202
未利用者	87	65	78	68	96	101	96	92	93	111	107	115	

(2) 給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	24	25	19	31	16	12	21	20	27	18	17	14	244
継続利用数	649	679	682	696	690	687	687	695	696	700	699	701	8,261
合 計	673	704	701	727	706	699	708	715	723	718	716	715	8,505

(3) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	918	1,034	1,142	1,127	1,106	938	1,002	904	1,148	1,146	960	1,002	12,427

(4) 活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議:20回 ② 研修会参加者数:30回/69名(延べ人数)
 ③ 虐待関係会議(コアメンバー、初動期評価、ケース、評価):28回 ④ 研修会開催・講話:8回

全体のまとめ

・今年度は、休暇職員1名の補充として新卒者1名を採用し、11名体制(専門職7名、介護支援専門員3名、事務員1名)で運営を行った。
 ・介護予防ケアマネジメント、指定介護予防支援事業における登録者数、継続利用者数ともに堅調な増加で推移した。担当区域の高齢者人口の増加にともなう新規相談の増加が一因と考えられる。
 ・個別地域ケア会議を年度内に12回開催し、多職種連携による個別の地域課題の解決に努めた。
 ・住民主体の介護予防活動への支援として、介護予防センターと連携し自主運動グループの立ち上げおよび活動推進など地域の主体的な介護予防の支援を行うことができた。

26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

○中央区第3地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	83	80	77	67	89	52	91	77	61	68	66	57	868

(2)会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	8	
個別地域ケア会議の準備会	3	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	11	
区地域ケア推進会議	2	
区連絡会議	24	
市地域ケア推進会議		2
①②以外のケース検討会議	2	1
運営推進会議等		74
介護支援専門員連絡協議会		5
地区組織との連携	6	26
医療機関との連携	12	3
その他関係機関との連携	79	15
生活支援コーディネーター等との連携		3
合 計	150	129

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1)登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	1028	1015	1004	1014	1000	1015	1002	1024	1018	1025	1031	1029	
解約者数	40	31	27	16	20	21	25	32	20	11	20	14	277
未利用者	108	89	93	84	84	100	102	107	103	103	105	100	

(2)給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	31	28	29	25	23	21	21	36	20	30	34	20	318
継続利用数	889	898	882	905	893	894	879	881	895	892	892	909	10,709
合 計	920	926	911	930	916	915	900	917	915	922	926	929	11,027

(3)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	1,547	1,539	1,472	1,527	1,483	1,490	1,478	1,413	1,262	1,316	1,301	1,440	17,268

(4)活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議 24回 ② 研修会・参加者数 38回/ 54名(延べ人数)
③ 虐待関係会議(コメンター、初動期評価、ケース、評価) 38回 ④ 研修会開催 6回

全体のまとめ

・介護予防ケアマネジメント、指定介護予防支援事業における登録者数、継続利用者数ともに増加した。
・個別地域ケア会議については、年度内8回の開催に留まり、当初計画の12回には至らなかった。しかし、包括ケースから3件を個別地域ケア会議につなげ、その全てにアドバイザーの活用を取り入れて開催することができた。
・認知症サポーター養成講座については、4回開催し、合計104名に対して講座を開催した。
・中央区内の3つの包括支援センター合同研修を企画し、弁護士勉強会、ケアマネ連協や在宅ケア連絡会との合同研修を開催した。
・曙地区において、今年度も関係機関とともに「曙福まちほのぼのカレンダー」を作成。今回は、南警察署にも協力いただき、特殊詐欺への啓発内容を加えて1500部を作成し、地区の独居高齢者や曙地区の見守りサポーター協力店などに配布をした。